

令和6度 宮崎地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

令和5年度は、新型コロナの5類移行に伴い地域活動が活性化し、それに合わせる形で活動を強化してきました。特に見守り体制が整っていないエリアで、住民同士が気軽に触れ合える場に発展できるよう支援してきました。引き続き地域のネットワーク構築を目指します。また移動や買い物が難しいエリアでの移動支援の援助も継続し、さらに発展することができるようにします。地域の介護予防の観点からも新たに体操サロンを立ち上げ、健康増進にも積極的に取り組んでいきます。お祭りも継続開催し地域との関係もさらに強化し、区政80周年事業にも取り組みながら西区エリアの発展に努めていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域に向けて、移動困難エリアにお買い物支援等を継続し、認知していただけるよう取り組んでいきます。地域の交流の場で課題を把握し、新たな支援に発展できるよう情報発信をしていきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新たに体操サロンを立ち上げ、認知歩行機能プログラムを実施し、認知症予防に努めていきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	あかもんふれあいサロンを継続開催し、自治会館が住民に向けた情報の発信源になるよう、サロンを継続して支援していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「地域住民と専門職による見守りネットワークの構築」をテーマとし、地域ケア会議を開催していきます。地域やCMから寄せられる、一人暮らし高齢者や認知症のある方をどう見守り、支援するか多職種で検討していきます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	築年数が古い集合住宅において、孤立などの課題がないかなど、情報の収集に努め、自主事業や地域のサロンを紹介するほか、出張ケアプラザなど、気軽に相談できるような体制づくりをしていきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

坂が多く外出が困難になりやすいエリアで、また近所のスーパーが立替えのため長期休業となっていることから、昨年度に引き続き今年度もお買い物支援に力をいれ積極的にケアプラザの車両を活用していただきました。今後は地域の住民も巻き込みながら必要なエリアに定期運航できるよう協議していきます。また自主事業で新たに体操サロンを立ち上げ自主化を支援してきました。地域住民が意識的に活動できるよう今後も支援を継続し地域の担い手を増やしていきます。地域の見守り体制強化では、赤門エリア、野毛山エリアの集合住宅をターゲットにケアプラザ事業の周知、出張ケアプラザの開催等実施し、相談機関としてのケアプラザを意識的に啓発してきました。そしてみやざき祭りでも第一地区、第4地区社協にも協力していただきながら、たくさんの担い手の方と共に盛大に開催し、プラザの事業の説明、各地区の活動の啓発に力を入れました。今後も関係箇所と連携しながら、地域の拠点として各課題に取り組んでいきます。

区からのコメント

（全事業共通事業）

○様々な機会を捉え、地域の課題把握に努め、住民主体の地域活動の支援、高齢者が多いマンションの支援、住民と協働した地域拠点の形成などに尽力し、成果をあげました。また、福祉車両活用による移動支援の取組は社会参加の機会づくりや「つながり・交流」の機会を生んでおり、今後も重要な取組であるため、引き続きの取組を期待します。
○ケアプラザの貸室業務や自主事業も精力的に行い、地域住民のニーズ把握に努めています。引き続き、職種・組織を越えた連携による地域アセスメントを継続し、把握した個別課題の積み重ねから地域課題を捉え、住民主体の地域づくりにつなげられることを期待します。また、にごまちプラン地区別計画の推進や次期計画策定について、地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の3者で連携しながら、地区支援に取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続き、どうぞよろしくお願ひします。

○各エリアの様々な居場所等を支援されていることで活発な地域活動が維持されています。今後も引き続き、多職種によるアセスメントを通じた高齢者の健康維持や生活維持に、多様な主体による資源の活用も視野に入れながら、地域で高齢者を支える取組がより一層推進されることを期待しています。

（地域包括支援センター事業）

○認知症はじめ、包括的・継続的ケアマネジメント、権利擁護等、様々な分野で身近な地域での普及啓発に取り組んでいただくとともに、地区診断に基づき、地域住民と連携しながら、みまもりの充実に向けた取組を進めていただきました。特に認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、関係機関とも意見交換を深められ、必要な取組についても検討いただいたと思います。また、坂が多く外出が困難になりやすいエリアの実情を踏まえ、生活支援やフレイル予防の強化にも取り組んでいただきました。今後も、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり等、地域づくりが一層推進していくことを期待しています。